

参加費無料

個別相談窓口設置

先端技術を活用した事業展開に関するご相談

地域版

第4次産業革命推進
プロジェクトシンポジウム
自治体×先端技術で生まれる可能性

東京都では、都内区市町村がAI、IoT、ビッグデータなどの先端技術により地域課題を解決することを目的として、技術開発や実証実験を行う取組を支援する事業を昨年度から開始しました。この度開催するシンポジウムでは、都内自治体職員を主な対象に、AI、IoT、ビッグデータ、RPA、キャッシュレス決済等の先端技術を活用して自治体でできることを具体的な活用例を交えて紹介します。また、先端技術を活用した事例の紹介やパネルディスカッションなど、新たな事業展開の検討やイノベーション創出のきっかけとなる場を提供します。

日時

2019年 7月4日(木)

14:00~16:20 (13:30開場)

会場

TEPIAホール

(東京メトロ銀座線 外苑前駅 3番出口徒歩4分)

定員

150名(先着順)

対象

- 先端技術を活用した施策を検討している都内自治体職員
- 地域課題の解決に向けた技術開発や実証実験に興味のある都内中小企業・大学関係者

- ✓ AI・IoT・ビッグデータ等の具体的な活用方法を知りたい方
 - ✓ 地域課題解決に向けた取組を検討中の方
 - ✓ RPA・キャッシュレス決済・AIチャットボット等に興味がある方
- など幅広い方におすすめです!!

主催：東京都 産業労働局 商工部 地域産業振興課

第1部

14:00 【開会】

14:05 【セミナー】

自治体における先端技術の活用可能性

AI、IoT、ビッグデータ、RPA、キャッシュレス決済等の先端技術を使ってどのようなことが実現できるのか、具体的な事例を交えて紹介します。

講演

デロイトトーマツ コンサルティング合同会社

14:45

【事例紹介①】 藤沢市 × 慶應義塾大学

ごみ収集車のIoT対応による環境モニタリング事業

AIの画像処理技術を活用し、ごみの回収業務中に道路標示のかすれや道路損傷状況、ごみ袋の個数などを把握する実証実験を実施。市の施策検討に活用しています。

講演

藤沢市 総務部 IT推進課
参事兼課長

福田 達夫 氏

慶應義塾大学
環境情報学部 教授

中澤 仁 氏

【事例紹介②】 市川市 × LINE株式会社

LINEによる住民票オンライン申請実証実験

住民票の写し等の申請から手数料の支払いまで全てをLINE上で完結。施設使用料のキャッシュレス化や子育て・防災などの情報配信も行っています。

講演

市川市 企画部 企画課

伊藤 辰浩 氏

LINE株式会社
GovTech TF TF長

中嶋 一樹 氏

【事例紹介③】 青梅市 × 開発事業者(予定)

AIチャットボットによるリサイクル推進事業

ごみ分別AIチャットボットの開発により、住民サービスを向上しながらリサイクルを推進。将来的には他分野も含めたAI総合窓口の創出を目指します。

講演

青梅市 企画部
企画政策課 企画政策担当 主査

高野 剛志 氏

開発事業者(予定)

第2部

15:40 ~ 16:20 【パネルディスカッション】

事例紹介に登壇した自治体、企業、大学・研究室の皆さまに、実証実験に関するここでしか聞けない内容を質疑応答形式でお話しいたできます。

プログラムの詳細

セミナー紹介

自治体における先端技術の活用可能性

(デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社)

AI、IoT、ビッグデータ、RPA、キャッシュレス決済等の先端技術について、活用のための基礎知識や活用までのステップ、活用例などを幅広く紹介。また、全国自治体での活用状況や具体的な事例などもご紹介いたします。

技術		活用例
AI		<ul style="list-style-type: none"> ▶チャットボットによる問い合わせ対応 ▶画像処理技術による道路舗装の損傷状況把握 ▶観光渋滞予測・対策 ▶雇用マッチングシステム ▶ケアプラン等の支援計画の作成 ▶防災計画の策定・見直し
IoT		<ul style="list-style-type: none"> ▶ウェアラブル端末を活用した健康データの収集 ▶橋梁へのセンサー設置による水位監視 ▶工場内で製品にICタグを取り付け生産管理 ▶レンタサイクルにGPS連携の端末を設置し回遊ルートを集集
ビッグデータ		<ul style="list-style-type: none"> ▶庁内データや統計データを活用した政策立案 ▶医療・介護・健診データを解析し未病・介護予防へ活用 ▶庁内にて把握している子どもに係る多様な情報を一元的に収集・分析し、定期的に「見守り判定」(生活困窮・学力・非認知能力等)を実施
その他	RPA	<ul style="list-style-type: none"> ▶市民税課での新規事業者登録 ▶保育所割り当ての自動化 ▶職員名簿の作成 ▶後期高齢者医療制度関係の各種届出書受付処理 ▶ふるさと納税の受付処理
	キャッシュレス	<ul style="list-style-type: none"> ▶公共施設利用料の支払 ▶市民税の支払 ▶電子地域通貨による域内商店等の活性化
	ドローン	<ul style="list-style-type: none"> ▶災害時の情報収集 ▶避難誘導放送 ▶インフラ施設の点検 ▶医薬品の搬送

※当日は上記を含め様々な活用例をご紹介します。

事例紹介

藤沢市 × 慶応義塾大学

ごみ収集車のIoT対応による環境モニタリング事業 (平成28年度)

戸別収集で市内をくまなく巡回するごみ収集車に着目し、環境センサーやAI搭載ドライブレコーダーを取り付けることで、温度・湿度・PM2.5などの環境情報、ごみの個数、道路標示のかすれ・損傷状況などを把握。収集したデータについて、オープンデータ化の検討や、市の施策検討に活用している。また、職員が業務中に発見したごみの不法投棄や落書きなどをスマートフォンで撮影し、写真やコメントとともに共有できるアプリを開発。早期対応や業務効率化につながった。

市川市 × LINE株式会社

LINEによる住民票オンライン申請実証実験 (2019年3月19日～6月30日(予定))

「市川市LINE公式アカウント」上から、24時間いつでもどこでも住民票の写し等の申請が可能。LINEのトークで質問に答えるだけで申請が完了する。手数料の支払いは「LINE Pay」を利用し、キャッシュレスに対応。書類は後日郵送で自宅に届く。その他、子育てや防災などの情報をLINEで配信するサービスや、施設使用料のキャッシュレス化も実施。今後、商店街の活性化等、地域課題の解決につながる取組も展開予定。

青梅市 × 開発事業者(予定)

AIチャットボットによるリサイクル推進事業 (2019年4月～2021年3月 ※本事業採択事業)

既存のQ&A等を活用し、AIチャットボット(プロトタイプ)の開発・実証実験を実施するとともに、市民やごみ収集事業者への調査を実施し、プロトタイプの改良・高度化に反映。住民サービスの向上と合わせてリサイクルの推進を目指す。将来的に他分野へのAIチャットボットの展開を推進するため、庁内連携をスムーズにするための会議体を設置し、検討を進めていく。

会場へのアクセス

TEPIAホール (一般財団法人高度技術社会推進協会内)

東京都港区北青山2-8-44

東京メトロ銀座線外苑前駅(3番出口)・・・徒歩4分

都営大江戸線青山一丁目駅(0番出口)・・・徒歩9分

都営大江戸線国立競技場駅(A1出口)・・・徒歩11分



申込方法

公式ホームページからフォームを入力

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/chushou/shoko/chiiki/industrial4/index.html>

お問合せ

デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社 (受託事業者) TEL 03-6860-7722

